

令和3年3月吉日

保護者の皆様
地域の皆様

船橋希望学舎
世田谷区立希望丘小学校
校長 戸田 靖

令和3年度に向けた改善策

(学校関係者評価委員会評価報告書を受けて)

世田谷区では、「信頼と誇りをもてる学校の創造」をめざし、学校評価を実施しています。本校も、学校関係者評価委員会を開き、各委員の皆様から、関係者評価の分析や教育活動の参観等をふまえ、さまざまな視点からの評価や率直なご意見をいただきました。そして、先日、学校関係者評価委員長 藤原桂子様より、本年度の学校関係者評価結果の報告と提言を受けました。

「新型コロナウイルス感染の中にあって、児童と先生方の信頼関係を基盤に、学校が可能な限りの教育活動を続けたことは評価できる」と、今まで以上に研修を重ね、とりわけ学年間の連携を強めて、集団で対応する工夫を重ねてきたことを認めていただいたことは、大変うれしいことです。また、3つの重点目標（重点目標1「主体的な学習活動を大切にし、思考力や表現力を育てる」、重点目標2「思いやりの心をもって行動できる子どもを育てる」、重点目標3「健康な身体づくりを心がける子どもを育てる」）に関して、概ね目標に達しているという評価をいただきました。

教職員が一体となり、課題に真摯に向き合い、一つ一つ丁寧に対応していく覚悟です。今後とも、ご家庭や地域、学舎、学校運営委員会とも十分に連携を図りながら学校運営に尽力して参ります。

学校関係者評価委員会報告書より、改善すべき課題として以下の3点について、令和3年度の具体的改善策をご報告いたします。

1 自他ともに大切にする児童を育成します。

「学校のルールについて考えて行動している」ことに関して児童82%、保護者79%であり、「あいさつ」に関して児童84%、保護者82%が肯定的評価をしており、概ね目標を達成したと評価していただきました。一方で、「相手の気持ちを考えた言葉遣い」に関しては児童76%、保護者73%とやや低いという提言を受け、思いやりの心をもった行動は相手の気持ちを理解することが大切であり、言葉遣いはその表れであることを児童自身が自覚し、他者を大切にできる自分を実感することで自己肯定感や自己有用感にもつなげたいと考えます。

- ① 人権尊重の精神に立ち、全校朝会で校長が宣言し、教職員全員で声かけを続けることで、授業だけでなく、日常生活でも呼び捨てを一掃します。
- ② 生活スタンダードに「言葉遣い」の項目を新設し、全校で取り組みます。

- ③ 毎月一週間、週目標を「望ましい言葉遣い週間」と位置付け、全校で取り組みます。取り組む週や内容は児童の様子や学校行事等に応じて決定します。

2 世田谷区が推進する「探究的な学び」と「キャリア教育」を推進します。

「本校では従来から校内研修が重視されており、5分間研修など短い時間の研修も盛んである。日々の努力が授業改善に活かされていると考えられる」と評価していただいた学校風土を一層推進し、世田谷区の推進する「探究的な学び」と「キャリア教育」を推進していきます。

- ① 校内研究や日々の研究・研修の一層の充実を図り、「教科書解説型の授業」から脱却し、児童自ら課題意識をもち、解決すべき課題を設定し、道筋を考え、試行錯誤しながら課題を解決していく「問題解決型の学習」をすべての学年、教科等で実現します。
- ② 教員同士が授業を公開し合い、意見交換を行ったり、専門性を生かして交換授業を行ったりすることで、教員の授業力の向上を目指します。
- ③ 全学年を対象に、学期末毎に意識調査を行い、研究推進委員会及び評価委員会、各学年、各教科部会等で分析・検討し、一層の授業改善を図ります。
- ④ キャリア教育に関する本質や意義、目標等を全校で確認し、学校及び各学年の年間指導計画を見直し、全教育活動を通してキャリア教育の推進を図ります。

3 社会に開かれた学校づくりに努めます。

保護者の「学校の重点目標が明確である」が昨年度から5ポイント上がって8割(81%)を超え、「学校だより・学年だよりなどで、保護者に情報を提供している」が昨年度から7ポイント上がって93%と高評価でしたが、「ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している」は69%(否定的評価22%)と低い結果となりました。保護者や地域の皆様からより一層信頼されるべく、新型コロナウイルス感染防止の取り組みや学習の習得や地域との連携の状況などをていねいな説明や情報の発信を行っていきます。

- ① 4月の保護者全体会で重点目標や具体的な方策についてご説明いたします。また、9月の保護者全体会で重点目標や学習の進捗状況をお伝えいたします。
- ② 不定期の「校長室だより」を発行し、学校の取り組みや学習の進捗を随時、お伝えいたします。
- ③ ICT推進チームを新設し、GIGAスクール構想を推進するとともに、各学年にHP担当者を決め、行事だけでなく日常の子どもたちの様子もお伝えしていきます。

以 上